

がん撲滅サミットが大阪で開かれました

みなさん！

第一部の公開セカンド・オペニオンで、先生たちに訊いてくれましたか？ 第二部もこの後にありますから、遠慮せんで、もっとどんどん訊いたほうがよろしい。日本中の名医が集まっているのやから、チャンスにせんとあきませんよ。

この「世界がん撲滅サミット 2022 in OSAKA」の代表顧問で提唱者でもある中見利男さんは、病を押して車イスでがんばっておられます。

僕らの（株）アオキはものづくりの会社で、直接は、がんとは関係はありませんが、大阪公立大学とものづくりの会社六〇社が集まって、ものづくり医療コンソーシアムをつくってます。当然（株）アオキも入ってます。

このコンソーシアムの成果の一つに、内視鏡があります。内視鏡はドイツ製だと一〇〇万円はします。我々の開発したものは一〇〇万円ですみます。これは訓練用ですが、使い方も画像も医療用のものと同じくらいの性能です。対象は医学生諸君です。医師を養成するためのお役に立てれば、と思っっています……。

以上は、先月の十一月三日「文化の日」に、大阪の大阪国際会議場で開かれた「世界がん撲滅サミット 2022」での僕

の講演「下町ロケット、医療の空へ舞いあがれ！」の二要旨です。持ち時間は一分間しかなくて、しかもずっと時間が押してたから、つい早口でしゃべってしまいました。聴衆のみなさんに伝わったかどうか心配でしたが、後で聞いたら、ようわかったという人が多かったから、安心してます。

公開セカンドオペニオンに多くの時間を割いていました

さて、このイベントでは公開セカンドオペニオンというのに、多くの時間を割いてました。

正直、僕はセカンドオペニオンというものを受けたことがありません。

身体に何か問題起きたら、いつも知り合いの信頼できる先生に任せてたから、別の意見聞くななんて考えたこともなかったんです。

経験がないんで、改めて知り合いに聞いてみますと、このようなこと言っていました。

「僕が、がんと診断されたのは、五〇代でした。最初は会社の健康診断で、疑わしいところがあるとされ再検査を受けたんです。そして、そのエックス線写真を専門医に見せると、『ああ、



◎(株)アオキ取締役会長

青木 豊彦 (あおき・とよひこ)



大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。東大阪の技術力を生かし人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年国立和歌山大学客員教授に就任。2016年大阪市立大学学長特別顧問に就任(現在は、大阪公立大学客員教授)。2020年国立滋賀医科大学学外有識者会議委員に就任。(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事。

「大腸がんですね」と唐突に言われました。今でこそ、がん即死、とは思いませんが、なんの前触れもなく「大腸がんですね」は気が動転して、唾然としました。

気を取り直して、セカンドオペニオンを受けたいと言うと、いやがりもせず「いやがる医師もいるそうですが——エックス線写真を渡してくれて、ただし結果はかならず知らせるように、と念を押されました。

エックス線写真を持って行ったのは、漢方も併用している病院です。

何とか手術せずにすまないだろうか、というのが頭にありました。そやけど、やはりだめでした。これは外科手術で切るしかありませんね。と言われました。

しかし、この二番目の先生は、よく僕の話聞いてくれて「僕は毎日患者さんと、がんの話をするんですが、患者さんにとっては、初めての自分だけのことですから、当然、シヨックも大きいです」とこちらの心情を理解してくれました。そして「あの病院(最初に訪ねた病院)なら、技術も設備もまちがいないでしょう、と太鼓判を押してくれたので、納得して最初の病院にもどり、手術の手続きをしたのです」。

壇上には乳がんやすい臓がんの専門家が 統合医療の権威者などが並んでました

いやあ、聞いてみてようわかりました。セカンドオペニオンって大事なんですなあ。担当医のお医者さんの機嫌伺いながら、頼まないといけないようやし、気の弱い人なら、ようしないか

もしもそんな。僕なんかも、そんなことになったら、ようせんかもしれん。これほんまのことです(笑い)。

でも、そんなこと気にしないで「世界がん撲滅サミット」では、壇上に一〇人以上の先生方、例えば、乳がん、すい臓がん、大腸がんなどそれぞれの部位の権威者から、カプセル型小線源治療、統合医療や漢方、それに重粒子線などの技術の権威者などが、ずらりと並んで会場からの質問に、応えてもらえます。

第一部ではすい臓がん、リンパ腺転移の大腸がんなどなどの質問が、会場から出ていました。

前後しますが、開会冒頭、二〇二二年九月一二日のアメリカ・バイデン大統領のメッセージが流れ、アメリカは国家目標として二〇四七年までにがん撲滅を掲げたことをアピールしていました。

このサミットは、来年も大阪でやると思います。全国の悩んでいるがんの患者さんや、そのご家族の方、是非、大阪に来てください。一緒にがんばりましょう。待ってまっせ!